

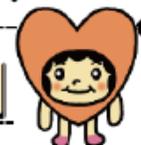
じんけんコラム(2月)

じんけんコラム ホツと♡スペース

ひとにやさしい、じぶんによさしい
あたたかい話題をとどけます!



オリンピック・パラリンピックから考える「誹謗中傷」



令和6年(2024年)7月から9月にかけてフランス・パリで開催されたオリンピック・パラリンピックでは、各国選手の素晴らしい活躍が大きな感動を与えてくれたことは記憶に新しいところです。

しかし、その裏側ではSNS上で多くの選手、関係者が誹謗中傷の被害を受けています。国際オリンピック委員会(IOC)によると、その数は8,500件超に上るといふことです。

誹謗中傷とは、相手の人格を否定または攻撃する言い回しです。たとえ匿名の投稿であっても、技術的に投稿の発信者を特定することができ、投稿の内容によっては民事上もしくは刑事上の責任を問われる可能性があります。

今の時代は簡単に投稿ができるし、著名な選手に対して直接メッセージを送ることすらできます。つまり、投稿者一人一人が情報発信力を有しているということです。だからこそSNSは、相手を傷つけるために使うのではなく、応援したり、励ましたり、心と心の良好なつながりを築くために使っていききたいものですね。